

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和5年6月1日から令和6年1月10日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B16025 B18057	

2 福祉サービス事業者情報（2023年10月現在）

事業所名：あんじゅり AW （施設名）住宅型有料老人ホームあんじゅり	種別：訪問介護
代表者氏名：豊田 喜久夫 （管理者氏名）小澤 倫世	定員（利用人数）： 25 名
設置主体：社会福祉法人 梓の郷 経営主体：	開設（指定）年月日： 平成29年 4月 1日
所在地：〒390-1701 長野県松本市梓川倭 2317 番地 1	
電話番号：0263-78-6566	FAX 番号：0263-78-6568
電子メールアドレス：soumubu@salvia.nagano.jp	
ホームページアドレス：http://azusanosato-salvia.jp/	
職員数	常勤職員： 1名 非常勤職員 10名
専門職員	（専門職の名称） 名
施設・設備 の概要	（居室数）25 （設備等）

3 理念・基本方針

わたしらしく、いつまでも～生きがい、つながりあい、支えあい～ 1. 介護とは、生きがいへの支援である 2. 介護とは、ヒューマンサイエンスの実践である 3. 介護とは、地域ネットワークである 4. そして、支えあうこと

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

・利用者の笑顔と持っている力を引き出す支援をする ・(家事援助をはじめとして一緒に行う事で) 今までの生活が継続できるように支援をする
--

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回 （ 年度）
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

① 【住宅型有料老人ホームの併設訪問介護事業所として役割を明確にして取り組まれています。】

今回の第三者評価は訪問介護事業所の評価になります。有料老人ホームに併設されておりホームの職員として、また訪問介護事業所の職員として利用者に関わり支援をしています。24時間暮らしの継続の中で2つの側面をもって利用者に関わっていますが利用者にとっては生活の支援者として常に頼りにされている様子が伺えました。利用者インタビューではこの事業所に入居して「前より元気になりました。」と話されていました。

管理者の話より、「住宅型としていかに入居時の心身機能を維持向上させ、元気に自分らしく暮らしていただくかが最も重要です。今年度の事業所目標として「わたし」の力を持ち寄って、暮らしの場を作り上げます。」を掲げ、職員と利用者と共にそれまでの暮らしが継続できるよう工夫して支援しています」との話を伺いました。

事業所には、看護職員が不在の為、終末期のケアについても本人・家族の意向を丁寧に伺い事業所で可能な状況であれば、居宅の介護支援専門員・かかりつけ医・訪問看護事業所との連携を図り終末期のケアに取り組まれています。

② 【生活の中で、自立につながるきっかけづくりを行っています。】

現在、介護計画の中で利用者の自立が少しでも可能になる取り組みを工夫しています。例として、“洗濯の一連の流れをやってみる”など今まで外注サービスを利用していた方も訪問介護員が傍で見守りや少し手伝うことで日常生活の中で利用者が自分で行うことが可能です。時間はかかりますが傍につきながら本人の力が発揮できる元気作りに取り組んでいます。

③ 【活動的な行事計画は利用者の参加で内容が決まります。】

毎月必ずお楽しみ行事が実施されています。昨年コロナ禍の中でしたが、事業所でドライブを企画し職員と利用者とは何回かに分かれて【室山探検ツアー】に行きました。計画の段階から利用者も参画し意見を言われていたとのこと。少しでも外の空気に触れ元気になられたようです。毎月のあんじゅり通信に利用者の写真をたくさん掲載し、家族に送付し喜ばれています。

◇特に改善する必要があると思う点

① 【組織の一員として法人の取り組みを理解し事業所での役割を実践する。】

今回、特に共通項目の評価を行う中で、法人として取り組んでいる項目と事業所が取り組んでいる項目があります。実際は実践されていますが「職員・利用者・家族に周知している・参画している」等の評価項目に対して職員自己評価では「わからない・知らない」に多くのチェックがありました。次へつなげる取り組みとして、重要度や必要度の高い項目から会議等で職員への周知確認を行ってほしいと思います。理解して実践することにより、効果も高まりPDCAサイクルの評価・改善につながることを期待いたします。

② 【「望まれる職員像」の定着】

「望まれる職員像」について、初任者研修や中途採用時研修で伝えているとのことですが多くの職員が「知らない・わからない」との状態でした。法人のキャリアパス制度を含め職員が身近に描くことができる工夫を期待いたします。

③ 【ボランティアの訪問・地域への情報発信へ再スタート】

コロナウイルス感染が3年と長い間続いていました。その間に地域との関係性や多くのボランティアとの関係性が中断しています。事業所2023年度事業計画の行動計画として「地域の中の施設として、興味をもっていただけるような景観作りと情報発信をする」と掲げられています。ぜひ全職員で考え積極的に取り組まれることを期待いたします。

④ 【安心してゆったり入れる浴槽・浴室の検討】

事業所「あんじゅり」は2007年に開設されました。その当時の浴槽も改修が必要になってきているとの管理者からの話がありました。利用者への聞き取り調査で入浴に関する希望や思いをお聞きしました。利用者の意向を聞き取りしていただき、今後重度化されても利用者にとっても職員にとっても安心して快適に入浴がでる浴槽・浴室造りを皆さんで検討していかれるよう期待いたします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添1）
- ・ 内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合（別添3－2）

長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要
領第2条第1項の規定により、有効回答者数が10人

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

(別添 4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 年 月 日記載)

事業所名：

管理者名：